

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総 合 版)

第 2 0 号

【平成 23 年 4 月 25 日 (月) 発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目
2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8697 又は 264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

復興本部からの情報提供

1. 災害復興本部への切り換え
2. J A グループ支援隊活動
(1) 第 1 陣による活動
(2) 第 2 陣の到着
3. 日向日本農業新聞常務取締役が激励訪問
4. 中三川富士通株式会社農林水産事業本部統括部長が激励訪問

復興本部からの情報提供

1. 災害復興本部への切り換え

J A グループ宮城では、3 月 1 1 日の大震災発生と同時に災害対策本部を設置し、被災された方々に物資の支援や、J A 事業の早期回復による貯金・共済事務や燃料供給等に努めてきたところです。

引き続き被災地における災害対策を行っていくとともに、今後は、農業基盤の復旧・復興と J A 経営の再構築に向けた取り組みも本格的に進める必要があります。

こうした状況を踏まえ、4 月 2 5 日に行われた第 3 4 回災害対策本部会議において、別紙 1 のとおり災害対策本部を災害復興本部に移行し、1 日も早い組合員の営農再開と農業基盤の再生や盤石な J A 経営に向けた対策について、組織を挙げて取り組んでいくことといたしました。

2. J A グループ支援隊活動

J A 農業倉庫保管米穀のはい崩れについては、4 月 7 日に発生した大規模な余震により、再びはい崩れ被害が発生しており、J A、全農宮城県本部、全農物流、中央会の職員により修復作業を実施してきました。さらに、全国 J A 支援として、4 月 2 0 日より、「東日本大震災 J A グループ支援隊」(全国の J A 役職員による災害復興支援ボランティアチーム) がい崩れの修復を支援することとなりました。

(1) 第 1 陣による活動

4 月 1 9 日に第 1 陣約 4 0 名が到着し、4 月 2 0 日より 2 2 日まで、J A 栗っこ・J A いしのみき、J A 古川の農業倉庫にてはいつけ作業を行いました。

なお、4 月 2 0 日の作業中に新たなはい崩れが発生し、支援隊の参加者 1 名と J A 臨時職員 1 名が怪我をする事故が発生しており、はいつけ作業の実施にはより徹底した安全確認を行いながら作業することが重要です。



J Aいしのみき河南低温倉庫のはい崩れの様子。はい崩れにより品種や等級が混在している。



シートパレットに積みなおした米袋は隣接する倉庫に保管された。

(2) 第2陣の到着

「東日本大震災 J Aグループ支援隊」の第2陣約40名が4月24日に到着しました。24日午後5時から開始されたオリエンテーションでは、黙祷の後、千葉和典 J A全農宮城県本部長が今回の訪問について感謝と激励の言葉を述べました。

また、支援隊を代表し、守江寛支援隊長（J A全農総合企画部 東北地区担当部長）が支援活動を開始するにあたっての決意を表明されました。

第2陣は5月27日まで、J A古川と J Aいしのみきのはい崩れ修復作業を支援する予定となっています。



オリエンテーションで挨拶する千葉和典本部長



活動を開始するにあたっての決意を表明する守江寛支援隊長

3. 日向日本農業新聞常務取締役が激励訪問

4月19日（火）10時に、日本農業新聞の日向志郎常務取締役がお見舞いと激励のため J Aビル宮城を訪問されました。

4. 中三川富士通株式会社農林水産事業本部統括部長が激励訪問

4月20日（水）16時30分に、富士通株式会社農林水産事業本部の中三川統括部長がお見舞いと激励のため J Aビル宮城を訪問されました。